

1. カーボンニュートラルへの取り組み
2. 環境マネジメントシステムの状況
3. 環境パフォーマンスの計画・目標と実施状況
4. 緊急事態に備えた環境リスクマネジメント
5. グリーン調達への取り組み
6. 環境情報の開示
7. その他の環境保全への取り組み

1. カーボンニュートラルへの取り組み

(1) CO₂ 削減目標

2030 年までに、CO₂ 排出量を2013 年度比で 46%削減することを目指しています。

(2) CO₂ 削減に向けた主な取り組み

- ・工場照明(水銀灯、蛍光灯)の LED 化を、2018 年度より段階的に進めています。
- ・2023 年度には、熱処理炉に断熱ジャケットを装着し、エネルギー使用量の削減と職場環境の改善を図りました。
- ・同じく 2023 年度に、都市ガスを使用していたボイラー暖房を電化し、エアコンへの更新を実施しました。

2. 環境マネジメントシステムの状況

(1) 環境スローガンと基本理念、環境方針

当社ホームページ「サステナビリティ／環境方針」を参照願います。

ISO14001:2015 の認証を継続しており、環境保全と継続的改善に取り組んでいます。

(2) 組織体制

組織内に環境管理責任者及び ISO 事務局を置くとともに、環境 ISO ワーキンググループ会議等の推進会議体で活動の取組みを定期的に確認、フォローしています。

(3) 環境教育・社内コミュニケーション

① 環境教育

環境 ISO 一般・専門教育、社内及び公的資格取得のための教育、内部監査員養成教育など

② 社内コミュニケーション

推進会議体の定期開催、内部・外部環境情報の連絡伝達など

(4) 法規制への対応

当社に該当する法規制は「環境関連規制まとめ表」に登録し、定期的に最新版を確認し、順守状況をチェックしています。

2024 年度対応事例の一部です。

法律等の名称	対応・遵守状況
エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律(省エネ法)	第二種エネルギー指定管理工場として、2024 年度のエネルギー使用実績について2025 年7 月に定期報告書を提出しました。
長野県地球温暖化対策条例	事業活動温暖化対策計画書兼実施状況等報告書を2025 年7 月に提出しました。当社のホームページに公開しています。

(5) 取組みの実施状況の把握・是正等に関する仕組み

①実施状況の把握

各部門・部署毎に年度の目標・実施計画を作成し、これに基づき進捗管理を行い、実施状況を把握しています。また定期的に会議体等でもフォローを行っています。

②是正処置に関する仕組み

下記に該当する場合は不適合として、社内規定に基づき是正処置を行います。

- ・法的要求事項からの逸脱
- ・環境マネジメントシステムに関する違反
- ・監視または測定対象の環境特性の基準値からの連続的な逸脱
- ・目標の未達
- ・利害関係者からの苦情
- ・内部環境監査の指摘事項

3. 環境パフォーマンスの状況および目標・計画

環境パフォーマンスの主な取組み項目と実施状況です。

(1) 資源・エネルギー対策

灯油・都市ガスなどのエネルギー削減、照明・OA 機器の電気削減、コピー用紙・ダンボールなどの資源削減を狙いとしています。

(2) 工場廃棄物の排出管理・リサイクル促進

ゴミの分別、廃油・スクラップ・紙の廃棄削減とリサイクルを狙いとしています。

(3) 化学物質管理・汚染防止

化学物質は消防法、毒劇物法等に沿った管理を行い、使用量の台帳管理、保管場所(危険物倉庫)の指定・施錠、毒劇物の看板表示等で特別な管理を行っています。また化学物質の漏洩・流出等の異常事態に備え、対応手順書を作成し、年1回対応訓練を行っています。

(4) 製品・サービスに関する環境配慮

RoHS 等の特定有害物質の使用制限に関する規制に合致する製品を提供するために、「製品含有化学物質管理規定」により運用しています。また、主要な取引先に「グリーン調達基準書」を配付し、当社への納入品の生産プロセスにおける環境配慮を求めています。

4. 緊急事態に備えた環境リスクマネジメント

(1) 環境リスクが大きいと思われる設備・工程の洗い出し、廃液処理工程での未処理水や規制値外れの流出事故及びメタノール貯蔵タンクからの漏洩等を想定したリスクの洗い出しを行っています。

(2) 環境リスク低減に向けた対策

トリクロロエチレン： 2001 年 4 月 炭化水素系脱脂施設に更新し、全廃

廃液処理設備： 2002 年 1 月 廃液処理設備更新

2003 年 5 月 原水槽増設

2004 年 10 月 廃液処理設備改造

ボイラーばい煙： 2005 年 8 月 ボイラー更新(A 重油からプロパンに変更)

2006 年 9 月 ボイラー更新(A 重油から都市ガスに変更)

2007 年 11 月 ボイラー更新(A 重油から都市ガスに変更)

2011 年 11 月 暖房機更新(A 重油全廃達成)

テトラクロロエチレン： 2018 年 9 月 溶媒脱脂工程生産終了、全廃

(3) 緊急事態対応訓練の実施：

廃液工程での流出事故及び、メタノール等の漏洩、流出事故を想定した訓練を行っています。

5. グリーン調達への取り組み

地球環境にやさしいグリーン調達を推進するために「グリーン購入品リスト」を作成し、社内に配布してリスト内の商品を発注するようにしています。

6. 環境情報の開示

(1) 環境保全活動全般に関する情報開示

・当社のホームページに、環境関連のページをつくり、環境方針、環境保全活動への取り組み等を紹介しています。

トピーファスナー工業 ホームページ <https://www.topy-fas.co.jp/>

(2) 製品・サービスが環境に影響を与える事項(環境側面)についての情報開示

・現在特に情報開示する事項はありません。

7. その他の環境保全への取り組み

・工場内のゴミ集積場を整備し、ゴミの分別を容易にすることで、廃棄物の適正処理とリサイクルの促進を図っています。

以上